

築山社協だより

題字：茂林 憲子

第29号

平成14年12月20日

築山地区社会福祉協議会
会長 高桑 博



紙一重の行動

築山地区社会福祉協議会 会長 高桑 博

若い頃、人は孤独に徹することはできても、孤独を愛することはできないと教わった。なぜなら愛は自分からの発意により実行に移すことより、他者からの愛を受ける方が、はるかに大き過ぎるからだという。

「みんなの福祉をみんなの手で」という社協のスローガンも聞いて久しい。特に高齢者の孤独死や孤立化を防ぐために、やさしい思いやりのある一声運動から始まった。

マンションに住む八十七才の一人暮らしの女性には沢山の友達がいた。所要で約束の時間に訪ねた友人は鍵の掛かっている部屋に不心を抱いた。約束の時間に買い物に出かける等、信じられなかった。その日は日曜日で管理人は不在で合鍵で開けることもできず、大騒ぎとなった。部屋に入るためには窓ガラスを破る以外に方法はなく、このためには警察や消防署等への手配も必要となり、救急車や救助隊も加わり窓ガラスを破つて中に入った。風呂場に倒れていた女性を発見、倒れてから十数時間も経過していたが奇跡的に一命を取り止めた。

また或る地区に住んでいた一人暮らしの男性は旅行が好きで時々家を空けることが多かった。新聞入れがいつばいになる頃ふらりと帰ってくる。隣近所に不在することも告げずまたふらりと出て行く。また新聞が溜った。虫の知らせか管理人立会いで部屋に入ったら死後一週間が経った孤独死であった。生まれながらの性格か、人と話しをしたくない人、接したくない人、それぞれ悩みを持って生きている人、千差万別です。前者の事例を含め友人を持つ大切さ、声かけ運動の大切さ、一人暮らし老人への見守りネットの在り方等いろいろ考えさせられる出来事であった。

夏らしい日が続くことの少なかった今年八月十二日の夜、前日未明から大雨が降り続いた秋田市ではいたる所で水位が上がり洪水が発生、特に当地区を流れる太平洋も警戒水位をはるかに超え、百石橋は橋桁までに達し、愛宕下橋付近の北端は道路まであと五纏で住宅街へ溢れでる寸前迄となった。榎山古川新町の二十世帯六十名に二十一時〇五分に避難勧告が出された。築山消防団の敏速な対応と誘導により避難所となった築山小学校体育館へ十一世帯二十五名が避難、日本赤十字社秋田県支部の対応もこれに応じ毛布二十枚日用品セット二十個を用意し激励、幸いにして二十三時三十分頃より徐々に減水し十三日〇時三十分避難勧告は解除となり全員帰宅することができた。思えば昭和三十年七月に発生した榎山地区大水害以来の四十七年ぶりのことであった。床上浸水〇件であったことに地区住民の喜びは一しおであった。災害は忘れた頃にやってくる。消防団員、町内会長を始め関係者の方々に感謝すると共に防災意識の高揚に努めて参りたいと痛感した。

マンションでの出来事、水害寸前の措置、全く異質なものはあるが地域住民が隣人を思い、地区に思いを馳せ如何に臨機応変の対処が必要であることか正に紙一重の命運をしみじみと考えさせられた。

平成14年9月17日
 栢山コミセン体育館
 対象者 1,325名



栢山小学校の 今とこれから

秋田市立栢山小学校長 加藤 俊悦

栢山地区社会福祉協議会の皆様には、本校の子供たちの健全育成のために、数々の心温まるご尽力をいただきまして、深くお礼と感謝を申し上げます。

現在、本校では、知性、徳性、健康や体力という面から、「心豊かで個性的な子供の育成」を目指した教育を進めているところです。複数の教師で指導のプランを立てて授業を行ったり（ティーム・ティーチング）、三学級の子供たちに五人の教師で目の届く指導を行ったりして（少人数指導）、基礎学力が確実に身につくように努めています。学力検査結果も生かしながら、理解しにくい内容については時間をかけた指導に努めています。



高桑会長のお祝いの言葉に聴き入る参加者



今年も子どもたちから
 沢山のプレゼントをいただきました



敬老会にご出席いただいた来賓の皆様

また、徳育の面では、礼儀や挨拶、協調性や思いやりの心を大切にした生徒指導と道徳教育も重視しています。四年生の「走れ たいよう 天国の草原を」の新聞本を使った道徳の授業は、マスコミにも取り上げられ、指導内容について他校からの問い合わせも多数頂きました。命の尊さを教えることは、人間愛を深めるための原点であると思います。

さらに、健康・体力面では、食の教育、栢山小運動会の充実、学年別マラソン大会などを通して忍耐力や持久力の育成も重視しております。特に、日曜日に行われた栢山小運動会は、保護者からも地域の皆様から大変好評でありました。地域からの絶大

なご協力やご支援があつてこそ、真の子育てが可能になるという考え方で、教育内容をさらに豊かになるよう改善を加えています。

全市一斉スポーツレクでの子供たちの運動会への参加（賞品が絶品！）、敬老会への子供たちの出席、交通安全指導や栢山竿燈での皆様からのご尽力など、地域に支えられて、栢山地区の子育てが着実に前進していることは、学校完全週五日制がスタートした時代にあつては極めて大きな意義があり、本校職員一同、皆様に深く感謝しているところです。

来年度は、「本校創立百二十周年」の大きな節目の年に当たります。また、「ティーム・ティーチング四十周年」、「栢山竿燈出灯十周年」も重なるため、ふるさと学習を深めるための絶好の機会にもなります。子供たちが心の奥深くで、地域の中で育てられていることを実感し、地域の方々への感謝と尊敬の心をもって行動することができるよう、記念すべき次年度へ向かって更なるご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成14年度 築山地区敬老会



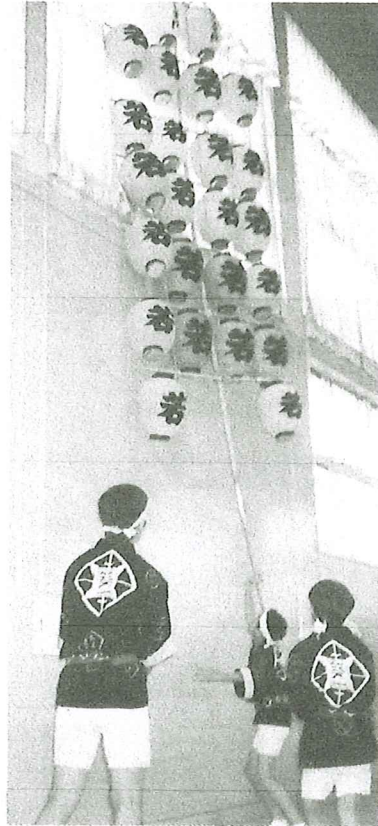
子どもたちの演技を見つめる参加者



暑さの中にも会場を渡る風が心地よく感じられる。去る九月十七日、恒例の地区敬老会が檜山コミセンで賑やかに行われた。

初めに物故者に対し慰霊の黙祷を捧げ、高桑会長のお祝いのご挨拶で始まりました。築山小学校加藤俊悦校長の心温まるご祝辞、出席者を代表して七尾四郎様から謝辞をいただいた式典を終えました。この中で七尾さんは老人も自立するところが必要だとも述べておられました。

その後、南中学校柏谷昭彦校長の音頭で祝宴がはじまりました。地元のみどり保育園や築山小学校の一年生によるごあいさつや歌、日本人の祭りに寄せる心をかきたてる、お囃しと竿燈の演技に参加者一同くぎづけになりました。そして日赤芸能奉仕団ご一行様による民謡や新日本舞踊が披露され、そのすばらしい唄声



築山竿燈クラブの妙技

やあでやかな舞に会場も大いに盛り上がりを見せました。この頃になると座を移し、旧知を温め合う姿も見られ、和気あいあい心ゆくまで交流を楽しんでいた、いただきました。

この敬老会を成功裡に終えることができたかげには、延七十人を超える地域のみなさんのご協力ご奉仕があったことを忘れてはならないと思います。

右 日赤芸能奉仕団による舞踊
 左 築山小学校一年生のみなさん
 上 みどり保育園の子どもたち
 中 築山小学校竿燈クラブのお囃し
 下 日赤芸能奉仕団の民謡の一曲マ



地域活動

写真でみるまちなちの動き



老朽化が著しく、また景観の面からも一日も早い改築が望まれていた築山児童館が、この春児童センターとして生まれ変わりました。

新しいセンターはこれまでよりも若干広い総延床面積五百平方メートル余りで、新たに放課後児童をお世話するひばりクラブも入所しました。

去る四月十三日市関係者、市議会議員、地区内の諸団体、施工業者、センター運営委員などが出席して開館式と祝賀会が盛大に開催されました。



千秋会館で引き続き行われた祝賀会



築山小学校の児童も参加した開館式

交通安全協会植山支部では、地区内における交通事故や交通違反を少しでも減らそうと頑張っております。

現在会員数百七十名余り、年会費五百円と地区協会からの助成金によって運営されております。

主な活動としては年四回の交通安全運動への協力、飲食店訪問、ドライバ―に対する安全運転の呼び掛け、交通安全教室の開催や参加、築山小学校の自転車教室への協力、春秋のなべっこラリー、優良運転者の表彰上申などを行っております。未加入の方は是非入会し、一緒に活動してみませんか。心からお待ちしております。



築山小自転車教室



右 交通安全を呼びかけて地区内を巡回する広報活動

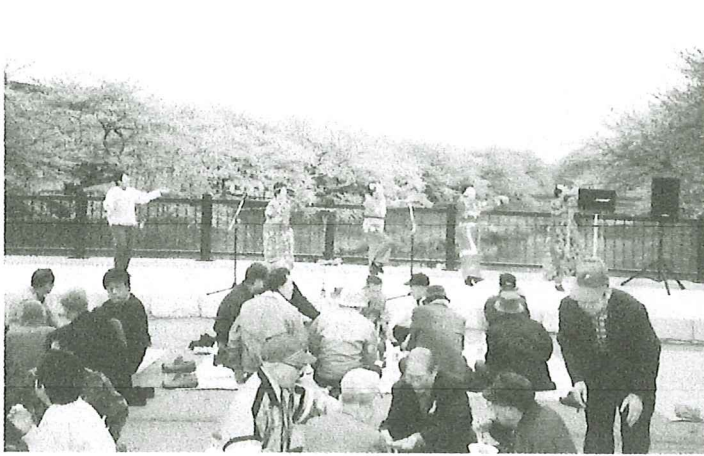
上 春と秋に行われる会員の家族や仲間と交流をはかる「なべっこ」ラリーの一コマ



高齢者交通安全教室



飲食店の訪問



この方は、榎山金照町に住む民生委員をなさっている佐々木正次氏です。JRに勤務しておりますが大変な芸の持ち主です。写真の芸のほか秋田万歳、楽器の演奏など手に余るものがありません。みなさんも是非声をかけてみてはいかがでしょう。



去る四月十四日、昨年に引き続き地区の方々に呼び掛け、太平川の桜を愛する会が、天気にも恵まれ盛大に開催された。秋田市で最もすばらしい桜並木を愛宕下橋から眺め、手作りの料理に舌鼓を打ち、コップを片手にカラオケや踊り、ダンスなどの隠し芸も飛び出すなど、楽しい午後のひとときをみんなで分かち合いました。みなさんも参加してみませんか。

地域福祉のために役立たせていただきます

築山地区社会福祉協議会 平成13年度決算及び平成14年度予算

収入

(単位：円)

科目	13年度予算額	13年度決算額	14年度予算額	備考 (14年度予算に対する説明)
1 会費	1,160,000	1,117,280	1,196,000	
2 共同募金一般配分金	804,470	837,215	850,800	平成13年度共同募金の実績による配分
3 共同募金特別配分金	59,000	75,600	60,000	地区組織活動推進費
4 友愛訪問事業費交付金	163,300	136,230	77,200	見守りネット事業助成金
5 助成金	495,000	538,780	707,000	地区助成496,000、地域選択事業136,000他
6 補助金	1,625,000	1,631,500	1,690,000	敬老会補助金1,300円×1,300人予定
7 寄付金	100,000	620,000	100,000	
8 諸収入	5,174	5,882	1,488	普通預金及び定期預金利子他
9 繰越金	1,038,056	1,038,056	1,475,512	平成13年度からの繰越
合計	5,450,000	6,000,543	6,158,000	

支出

(単位：円)

科目	13年度予算額	13年度決算額	14年度予算額	備考 (14年度予算に対する説明)
1 会議費	170,000	83,900	170,000	総会、役員会、理事会他
2 事務費	200,000	104,457	200,000	印刷、コピー、通信費他
3 老人福祉費	2,295,000	2,171,319	2,380,000	敬老会2,210,000、老人クラブ助成170,000
4 児童福祉費	160,000	160,000	180,000	児童館100,000、子供会40,000、城南園他
5 災害援護費	20,000	0	100,000	
6 研修費	100,000	161,891	500,000	地区研修会、福祉協力員、6地区研修会他
7 助成費	226,000	225,000	226,000	地区内8団体に助成
8 広報費	350,000	318,101	350,000	社協だより2回発行
9 慶弔費	50,000	21,000	50,000	
10 特別事業費	250,000	250,283	350,000	地域福祉活動事業、見守りネット事業
11 市社協納入金	1,113,000	1,029,080	1,149,000	市社協会費1,116,000、特別会費他33,000
12 予備費	516,000	0	503,000	
合計	5,450,000	4,525,031	6,158,000	

※ 上記の外に基金として3,000,000円の定期預金があります。(北都銀行榎山支店)

会務報告

平成十四年三月

- 三月二十二日 湯沢市社会福祉協議会を訪ね、地区福祉協力員の研修を実施した。二十五名参加。
- 三月二十五日 築山社協だより第二十八号を発行し、全世帯に配布した。
- 四月十日 会計監査の実施。
- 四月十六日 役員会を開催し、総会提出議案等について協議した。
- 四月二十七日 定期総会を楢山コミセンで開催し、平成十三年度事業報告、同決算、平成十四年度事業計画、同予算及び役員改選について協議決定した。
- 五月一日 日赤社員増強運動の推進。
- 六月一日 地区内福祉関係諸団体育成のため、助成金を贈った。
- 七月六日 敬老会該当者を民生委員、町内会長にお願いし調査した。
- 八月三日 地区敬老会案内状を民生委員、町内会長を通じ配布した。市社協だよりを町内会長を通じ全世帯に配布した。
- 八月十八日 役員会を開催し、敬老会について協議した。
- 九月三日 秋田県社会福祉大会が県民会館で開かれた。
- 九月十七日 恒例の地区敬老会を楢山コミセンで開催した。

対象者 一、三二五名
出席者 一五八名
式典終了後、みどり保育園児の歌や

踊り、築山小学校の児童による歌や竿灯の演技、日赤芸能奉仕団の皆様による民謡や新日本舞踊などで賑った。欠席者には、大判のガーゼバスタオルを贈呈した。

○ 十月一日 共同募金運動（赤い羽根）の推進協力。

○ 十月二十四日 秋田市社会福祉大会が文化会館で開かれた。

○ 十一月六・七日 全役員に呼び掛け、大館市の秋田県北部老人福祉総合エリアにおいて視察研修を実施した。三十七名参加。

○ 十一月十六日 協働大町ビルで開催された、秋田市六地区社協交流研修会に参加した。

善意のご寄付

（平成十四年三月三十日、平成十四年十一月三十日）

◎香典返し

南通築地 一 関 博 行様

十万円 (亡父 貞吉さん)

楢山愛宕下 渡 部 晴 男様

五万円 (亡父 弥一郎さん)

南通みその町 齋 藤 正二郎様

十万円 (亡妻 ハナさん)

南通宮田 鈴 木 カツエ様

二万円 (亡夫 友次郎さん)

楢山登町 高 橋 秀 雄様

五万円 (亡妻 貞子さん)

◎篤志

一万円 高 桑 博 様

加 藤 俊 悦 様

佐 藤 英 一 様

廣島ふとん店様

五千元
進 藤 鐵三郎様
楢山地区コミセン
サークル協議会様

たくさんのご寄付をいただき厚く御礼を申し上げます。皆様の善意を地域の福祉に役立たせていただきます。

グラウンドゴルフやスマイルボーリングなどを一緒に楽しみませんか!



老人クラブでは、新築なった児童センターをバックに毎月第二・第四土曜日の午前（冬期間を除く）築山小学校のグラウンドをお借りし、グラウンドゴルフを楽しんでおります。

◆編集後記◆

その他楢山コミセンでは、毎週水曜日の午後と土曜日の午前にはスマイルボーリング、火曜・金曜日には囲碁、第一・第三木曜日の午前には合唱を行っております。初心者も大歓迎です。誘いあつて参加してみませんか。

◇ 築山社協だより「第二十九号をお届けします。この度は、地区ご出身の築山小学校の加藤校長先生からご寄稿をいただきました。大変ありがとうございました。また、地域内の活動とし「まちの動き」のいくつかをとりあげてみました。写真などご提供下さった皆様に厚く感謝申し上げます。

◇ 一年早いもので、あと数日で新しい年を迎えます。何かと余り明るくない出来事が多かった年であったようにも思われます。巻頭の高桑会長さんの「紙一重の行動」を心に入れて、新しい年を進んで参りたいと思います。

◇ 築山地区社会福祉協議会が行っている活動が、益々地域の皆様と共にあることができそうです。努めて参りたいと考えております。皆様を知っていただきたい情報や、ご提言をお寄せ下さいませよう、お願いいたします。

編集責任者 樋渡 久孝
編集委員 加藤 三夫 黒崎 寅雄
神田 武

連絡先(事務局) 樋渡 久孝